

## 2023\_1130「夕暮れの飛鳥山交差点（写真）」日々の理科 3402号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

北区の小中学校への打ち合わせや出張が増えて、飛鳥山交差点もよく通るようになりました。この交差点から坂を下って王子駅前までの区間は、東京都内で唯一の「併用軌道区間」となっています。都電車輛（路面電車）と自動車が同一の路面を通行する区間という意味です。

昭和40年代までは、都内の路面を縦横無尽に走っていた都電も、今は「早稲田～大塚駅前～王子駅前～三ノ輪橋」の「荒川線」一系統だけになってしまいました。この路線が廃止を免れたのは、ほとんどが「専用軌道」（車道と分離された線路）だったからです。今でも路面を走る区間は何か所かありますが、完全に自動車と一緒に走るのは飛鳥山だけです。

併用区間では電車といえども優先通行ではありません。電車も信号（路面電車専用の黄色矢印の信号灯）を守って直進右左折をします。先日、夕暮れ時に滝野川方面から来た三ノ輪橋行きが、併用区間に出る手前で信号待ちをしていました。東京でも、今はここだけで見られる珍しい光景です。

(2023年11月下旬／北区飛鳥山)

